

日本BS放送株式会社

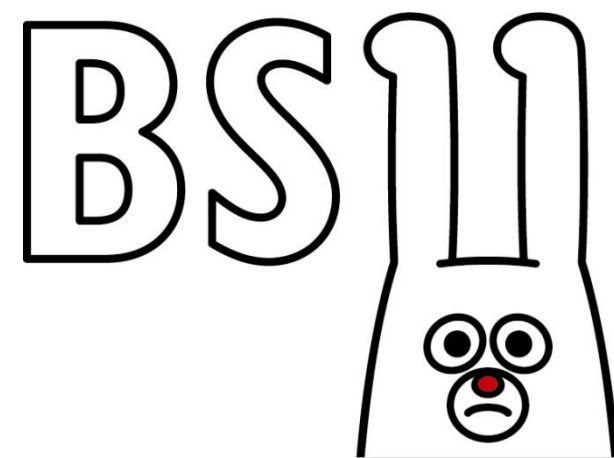
2021年8月期 （決算補足説明資料）

2021年10月7日



東証一部 コード: 9414

I 決算概況



2021年8月期 総括（連結）

売上高 12,004百万円（前期比 5.4%増↑）

営業利益 2,669百万円（前期比 21.9%増↑）

2021年8月期 総括（個別）

売上高 11,269百万円（前期比 5.7%増↑）

営業利益 2,632百万円（前期比 22.9%増↑）

売上高は12,004百万円（前期比5.4%増）、営業利益は2,669百万円（前期比21.9%増）、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,866百万円（前期比25.2%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2020年8月期	2021年8月期						
		実績	前期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(計画比)
売上高	11,394 (100.0%)	12,004 (100.0%)	+ 5.4%	+ 610	11,600 (100.0%)	+ 3.5%	+ 404	(売上高)
売上総利益	5,878 (51.6%)	6,450 (53.7%)	+ 9.7%	+ 572	—	—	—	・放送事業収入・・・ +128百万円 ・その他収入・・・ +140百万円 ・その他収入(出版)・・・ +136百万円
営業利益	2,189 (19.2%)	2,669 (22.2%)	+ 21.9%	+ 479	2,211 (19.1%)	+ 20.7%	+ 458	(営業利益)
経常利益	2,195 (19.2%)	2,741 (22.8%)	+ 24.9%	+ 546	2,303 (19.8%)	+ 19.1%	+ 438	・放送事業・・・ +451百万円 ・出版事業・・・ +7百万円
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,490 (13.0%)	1,866 (15.6%)	+ 25.2%	+ 375	1,533 (13.2%)	21.7%	+ 333	

※計画数値は、修正後の計画値を使用して実績比較しております。

貸借対照表

（単位：百万円、下段は構成比）

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

		2020年8月期末	2021年8月期	
			期末	前年増減額
	流動資産	13,751 (64.2%)	15,520 (67.6%)	+1,768
	固定資産	7,668 (35.8%)	7,452 (32.4%)	▲215
資産合計		21,419 (100.0%)	22,972 (100.0%)	+1,552
	流動負債	2,519 (11.8%)	2,549 (11.1%)	+29
	固定負債	99 (0.5%)	107 (0.5%)	+7
負債合計		2,619 (12.3%)	2,656 (11.6%)	+37
純資産合計		18,800 (87.7%)	20,316 (88.4%)	+1,515
負債・純資産合計		21,419 (100.0%)	22,972 (100.0%)	+1,552

	2020年8月期	2021年8月期
営業キャッシュ・フロー	2,252	2,199
税金等調整前当期純利益	2,195	2,741
減価償却費	240	459
売上債権の増減額(▲は増加)	318	▲122
仕入債務の増減額(▲は減少)	39	▲57
未払金の増減額(▲は減少)	▲250	24
法人税等の支払額	▲409	▲778
投資キャッシュ・フロー	▲808	▲217
有形固定資産の取得による支出	▲794	▲326
無形固定資産の取得による支出	▲3	▲37
財務キャッシュ・フロー	▲369	▲359
長期借入金の返済による支出	▲11	▲1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	▲2	▲2
配当金の支払額	▲356	▲355
現金及び現金同等物の増減額	1,074	1,622
現金及び現金同等物の期首残高	10,324	11,399
現金及び現金同等物の期末残高	11,399	13,021

売上高は11,269百万円（前期比5.7%増）、営業利益は2,632百万円（前期比22.9%増）、
当期純利益は1,840百万円（前期比26.1%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2020年8月期	2021年8月期						
		実績	前期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因（計画比）
売上高	10,657 (100.0%)	11,269 (100.0%)	+5.7%	+611	11,000 (100.0%)	+2.5%	+269	（売上高） ・タイム収入・・・+68百万円 ・スポット収入・・・+59百万円 ・その他収入・・・+140百万円
売上総利益	5,535 (51.9%)	6,107 (54.2%)	+10.3%	+572	—	—	—	（段階利益） ・売上高が前年比より大幅に伸長、 また、費用の効率的使用により増加
営業利益	2,142 (20.1%)	2,632 (23.4%)	+22.9%	+489	2,181 (19.8%)	+20.7%	+451	≪利益増加の具体的要因≫ 売上原価： ・自社制作番組（レギュラー番組・特別番組）のクオリティの追求とコストの見直しが奏功
経常利益	2,150 (20.2%)	2,704 (24.0%)	+25.7%	+553	2,255 (20.5%)	+19.9%	+449	販売管理費： ・新聞（全国・地方）やWEB等の 広告宣伝を効率的に実施
当期純利益	1,459 (13.7%)	1,840 (16.3%)	+26.1%	+380	1,503 (13.7%)	+22.4%	+337	

※計画数値は、修正後の計画値を使用して実績比較しております。

売上区分別実績（個別）

	2020年8月期	2021年8月期			
		実績	前期比	計画	計画比
売上高	10,657 (100.0%)	11,269 (100.0%)	+5.7%	11,000 (100.0%)	+2.5%
タイム収入	7,934 (74.4%)	8,008 (71.1%)	+0.9%	7,940 (72.2%)	+0.9%
スポット収入	2,385 (22.4%)	2,759 (24.5%)	+15.7%	2,700 (24.5%)	+2.2%
その他	336 (3.2%)	500 (4.4%)	+48.7%	360 (3.3%)	+38.9%

主な増減要因（前期比）

- タイム収入
レギュラー番組、特別番組のセールス強化により、前期比微増で着地
- スポット収入
巣ごもり需要による通販市況の堅調を受け、前期比+15.7%と大幅増
- その他
製作委員会への出資に伴う配当金や番組コンテンツ販売の拡大に伴い、前期比+48.7%増加

※計画数値は、修正後の計画値を使用して実績比較しております。

主要費用項目実績（個別）

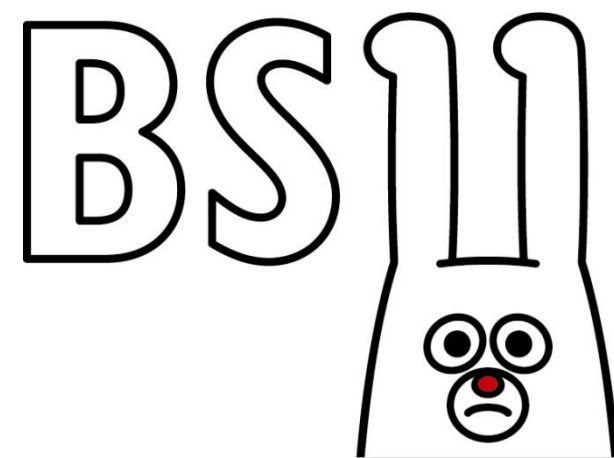
（単位：百万円、下段は売上比）

	2020年8月期	2021年8月期		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用（原価）	3,276 (30.7%)	3,223 (28.6%)	▲1.6%	
番組購入費	468 (4.4%)	381 (3.4%)	▲18.4%	・視聴者ニーズに応えたドラマジャンルの拡大 ・番組枠販売の好調による、購入コンテンツ数の減少
番組制作費	2,808 (26.3%)	2,841 (25.2%)	+1.2%	
放送関連費用（原価）	633 (5.9%)	610 (5.4%)	▲3.8%	
放送委託費	555 (5.2%)	556 (4.9%)	—	
技術費	78 (0.7%)	53 (0.5%)	▲31.3%	・マスター設備更新による関連費用の減少
広告関連費用（販管費）	893 (8.4%)	866 (7.7%)	▲3.2%	
広告宣伝費	836 (7.8%)	826 (7.3%)	▲1.2%	
販売促進費	57 (0.5%)	40 (0.3%)	▲30%	

貸借対照表（個別）

		2020年8月期	2021年8月期		
			実績	前年増減額	主要な増減要因
資産	流動資産	12,946 (62.8%)	14,674 (66.3%)	+1,727	・現金及び預金の増加 +1,630百万円 ・売掛金の減少 ▲70百万円
	固定資産	7,675 (37.2%)	7,462 (33.7%)	▲213	
	資産合計	20,622 (100.0%)	22,136 (100.0%)	+1,514	
負債	流動負債	1,807 (8.8%)	1,824 (8.2%)	+16	・買掛金の減少 ▲44百万円 ・未払金の減少 ▲24百万円 ・未払法人税等の増加 +132百万円
	固定負債	99 (0.5%)	107 (0.5%)	+8	
	負債合計	1,906 (9.2%)	1,931 (8.7%)	+24	
純資産合計		18,715 (90.8%)	20,205 (91.3%)	+1,489	・利益剰余金の増加 +1,484百万円
負債・純資産合計		20,622 (100.0%)	22,136 (100.0%)	+1,514	

Ⅱ 重点実施事項トピックス



知恵と知識を結集して戦略を強力に実行、

これら6つの「力」を強化・実践

経営環境の変化に応じた

戦略を構築する力

過去に捉われず

新たな試みに挑戦し続ける力



前期まで掲げてきた「4つの力」に加え、急激に変化する経営環境に対し挑戦し続けるための「変化対応力」、「改革推進力」の強化・実践を基本戦略と位置付ける。

「6つの力」を具現化する重点施策を

新たに「Value5」と位置づけ推進



I. 情報番組の新規、深耕開拓

- ・ 戦略に基づく新規開拓、新規企画の共同開発



II. アニメ事業の強化と発展

- ・ アニメ番組の強化、周辺事業への発展



III. コラボレーション施策の促進

- ・ 番組共同制作をはじめとした協力関係の強化



IV. 新規事業の開発

- ・ 開局15周年（2022年12月）に向けた新規事業の開発



V. 特番の強化

- ・ マーケティングデータに基づいたコアファン獲得につながる企画開発



レギュラー番組

➤ 報道番組の強化



最新ニュースから専門的な経済番組まで多岐にわたるラインナップ

➤ スポーツ番組の充実

5月より放送開始



➤ ドラマジャンルの拡充



日本初放送・BS初放送の作品を順次放送

視聴者ニーズに応える編成を実施



2020年9月から2021年8月のトピックス

BS11日本BS放送



V. 特番の強化

12月放送



10月放送



2月放送



3月放送



3月放送



4月放送



5月放送



6月放送



6月放送



6月放送



7月放送



3月放送





V. 特番の強化

愉しや！ につぽん再発見 シリーズ特番



昭和生まれの商品を山田五郎さんが解説、スタジオゲストに高畑淳子。



SDGsをテーマに、日本の最先端技術が貢献する取り組みを紹介。MCに徳光和夫さん、ゲストに慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科の蟹江憲史教授。



未来へ向けた養殖業や、究極の冷やし技術で港と飲食店をつなぐ鮮魚店の店主など様々な角度から日本の海の匠たちの姿をお届け。MCに長野博さん(V6)、ゲストにつるの剛士さん、横あやなさん。



『山の日スペシャル よるこ濱口山のぼり隊』
4回目となる今年は、那須岳の茶臼岳、朝日岳に挑戦。ゲストに濱口優さん(よゐこ)、木本武弘さん(TKO)、阿諏訪泰義さん(うしろシティ)、進行は横あやなさん。



Ⅲ. コラボレーション施策の促進



KBS京都
共同制作



KBS京都
共同制作



KBS京都・東京MX
共同制作

『おいでよ和歌山 遊び! 働く! ワークेशन!』



和歌山県
共同制作



KBS京都
共同制作



全国10局の放送局
共同制作



KBS京都
共同制作



岐阜放送
共同制作



Ⅱ. アニメ事業の強化と発展

◆アニメ関連番組 毎クール40タイトル以上放送！

・「ANIME+」枠 放送タイトル



©2021 みやこがしわ、はらわたさいぞう、小学館／出逢って5秒でバトル製作委員会



©川上泰樹・伏瀬・講談社／転スラ製作委員会



©理不尽な孫の手・MFブックス／「無職転生」製作委員会



©山川直輝・奈央晃徳・講談社／100万の命の上に俺は立っている製作委員会



©イノエ／小学館・死神坊ちゃんと黒メイド製作委員会



©どころエ2製作委員会

◆オリジナルアニメ関連番組の強化

「アニゲー☆イレブン！」

毎回ゲストに人気声優・アニメソング歌手などを迎えるトークバラエティ。今年10月に放送開始7年目を迎える。

「Anison Days」

番組オリジナルアレンジによるスタジオ生演奏でMCの森口博子さん、酒井ミキオさん、そしてゲストが、それぞれがセレクトするアニメソングをお届け。

「虹のコンキスタドールが本気出しました！？ ～Next Stage～」

アイドルグループ「虹のコンキスタドール」が様々な企画に挑戦する育成バラエティ番組。



GYAO!、U-NEXT、Amazonプライム・ビデオ等の各動画配信サービスにて見逃し配信 (2021年10月現在)

BS11 オンデマンドにて配信中！

子供向けアニメ枠「キッズアニメ∞」放送タイトル



© 2016 ZAGTOON™ - METHOD™ - TOEI ANIMATION - ALL RIGHTS RESERVED.



© FunnyFlux / Alpha All Rights Reserved

「アニメプラス」枠 放送タイトル



© 創通・サンライズ



© 創通・サンライズ

◆アニメイベント事業

3月開催



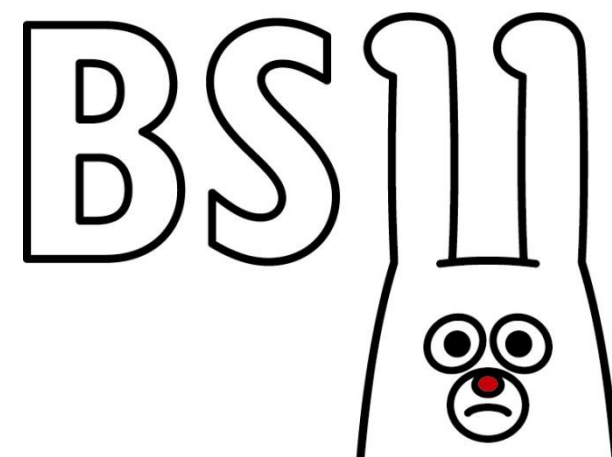
アニメイベント「AnimeJapan 2021」に出展。初の試みとなるBS11の公式YouTubeチャンネルにて、4月の新作アニメに出演の声優陣によるトークショー等を生ライブ配信。

8月開催



世界最大規模のアニメソングライブイベント「Animelo Summer Live 2021 -COLORS-」を(株)ドワンゴ、(株)文化放送と共同主催し、今冬にBS11にて独占放送することが決定。

Ⅲ 通期計画



売上高は12,200百万円（前期比1.6%増）、営業利益は1,810百万円（前期比32.2%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,250百万円を計画（前期比33.0%減）

コンテンツ強化等によるコスト増を見込むため前期比減益

（単位：百万円、下段は売上比）

	2021年8月期		2022年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,747 (100.0%)	12,004 (100.0%)	5,950 (100.0%)	3.5%	12,200 (100.0%)	+1.6%	+196
営業利益	1,264 (22.0%)	2,669 (22.2%)	1,060 (17.8%)	▲16.2%	1,810 (14.8%)	▲32.2%	▲859
経常利益	1,334 (23.2%)	2,741 (22.8%)	1,060 (17.8%)	▲20.6%	1,810 (14.8%)	▲34.0%	▲931
親会社株主に帰属 する当期純利益	911 (15.9%)	1,866 (15.6%)	735 (12.4%)	▲19.3%	1,250 (10.2%)	▲33.0%	▲616

売上高は11,500百万円（前期比2.0%増）、営業利益は1,800百万円（前期比31.6%減）、

当期純利益は1,243百万円を計画（前期比32.4%減）

コンテンツ強化等によるコスト増を見込むため前期比減益

（単位：百万円、下段は売上比）

	2021年8月期		2022年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,459 (100.0%)	11,269 (100.0%)	5,672 (100.0%)	+3.9%	11,500 (100.0%)	+2.0%	+231
タイム収入	3,943 (72.2%)	8,008 (71.1%)	4,012 (70.7%)	+1.7%	8,161 (71.0%)	+1.9%	+153
スポット収入	1,344 (24.6%)	2,759 (24.5%)	1,405 (24.8%)	+4.5%	2,825 (24.5%)	+2.3%	+66
その他	171 (3.1%)	500 (4.4%)	254 (4.5%)	+48.5%	512 (4.5%)	+2.4%	+12
営業利益	1,250 (22.9%)	2,632 (23.4%)	1,069 (18.8%)	▲14.4%	1,800 (15.7%)	▲31.6%	▲832
経常利益	1,320 (24.2%)	2,704 (24.0%)	1,069 (18.8%)	▲19.0%	1,802 (15.7%)	▲33.4%	▲902
当期純利益	902 (16.5%)	1,840 (16.3%)	741 (13.1%)	▲17.8%	1,243 (10.8%)	▲32.4%	▲597

2022年8月期は、期末配当金 20.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期 (予想)
年間配当	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	20.0円	20.0円	20.0円
1株当たり当期純利益	82.04 円	85.27 円	93.19 円	65.08円	83.72円	104.83円	70.21円

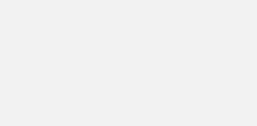
※1株当たり当期純利益の数値は、2017年8月期以前は個別、2018年8月期以降は連結で表示しております。

株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
 - ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ②当社株式1単位(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

10月改編ラインナップ

特番放送後、レギュラー化へ



新番組

毎週火曜 よる8時～



新番組

毎週土曜 よる8時～



今年も継続して放送予定

コラボレーション施策の促進



レギュラー化

KBS京都・東京MX
共同制作



「ディスカバリー傑作選」
毎週月～金 よる7時03分～
土日 よる9時～



決勝トーナメント放送



10月よりサブキャスターに上野愛奈さん
スタジオセットやオープニング曲もリニューアル



放送中

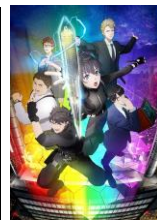
アニメ事業の強化と発展



©桐丘さな／集英社・大正オトメ御伽話製作委員会



©大場つぐみ・小畑健／集英社・プラチナエンド製作委員会



©西田征史・久保忠佳・三宮宏太・講談社／ミッションT



©吾峠呼世晴／集英社・アニプレックス・ufotable

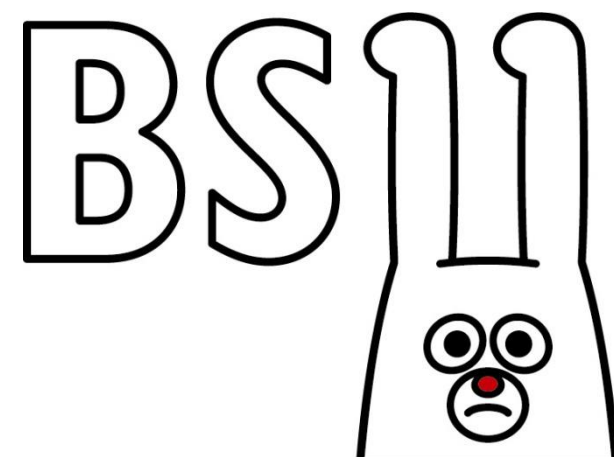


©ブラネット・日本アニメーション／やくちん魔物まも製作委員会



10月クールアニメ関連番組 全46枠放送！

IV (ご参考)会社概要



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 齋藤 知久 代表取締役社長 兼 COO 小野寺 徹
設立	1999年8月
資本金	41億8393万円（2021年8月31日現在）
従業員数	121名（連結）（2021年8月31日現在）

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

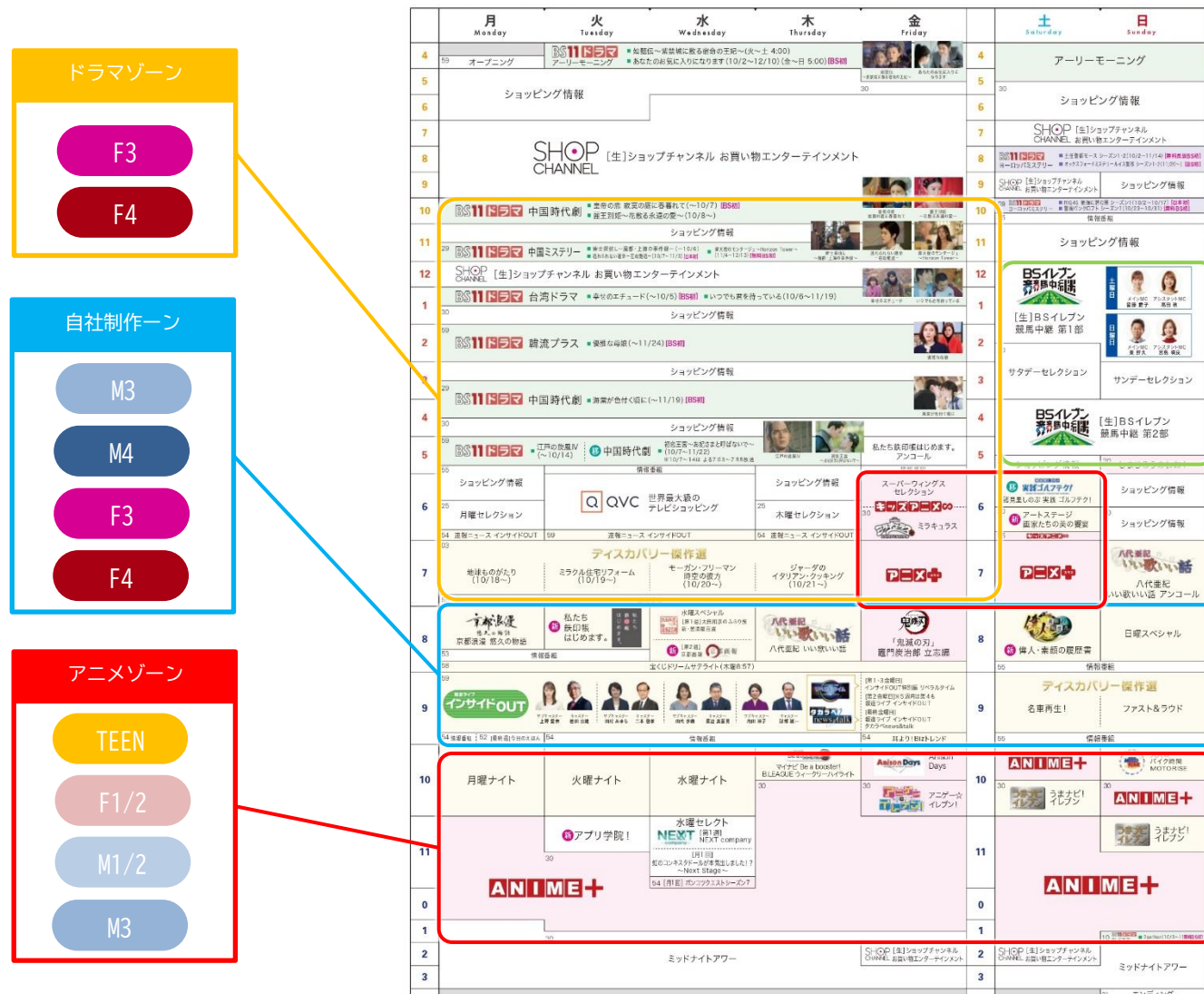
当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

全国無料BS放送局								
グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ビックカメラ	三井物産	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS11	BS12	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系		公共
開局年月	2000年12月開局					2007年12月		2011年11月開局
グループ	“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、 共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた取り組みを実施。							

BS11の特徴

- ①家電量販店**ビックカメラ**を親会社に持つため、番組・CMの放送に加えて、
消費者へのダイレクトなコンタクトポイントが持てる企画立案が可能！
- ②独立系だからこそ地上波放送局に制限されない**自由な編成**が可能！
- ③『**アジアドラマ**』・『**アニメ**』・『**競馬**』など多岐にわたるラインナップ編成により、
幅広い年齢層の視聴者層が存在！

BS11では曜日・時間帯ごとで視聴者ニーズに応える編成を実施
そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢層の視聴**が見られる



(2021年10月クール編成表)

ターゲット区分

	性別	年齢
TEEN	男・女	12-19歳
M1	男性	20-34歳
M2		35-49歳
M3		50-64歳
M4		65歳以上
F1	女性	20-34歳
F2		35-49歳
F3		50-64歳
F4		65歳以上

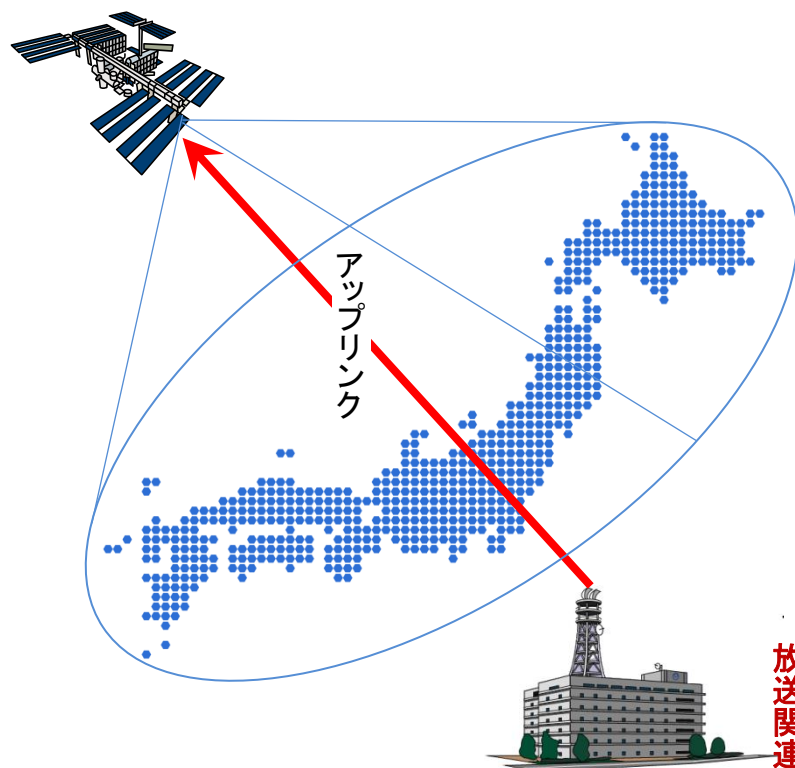
【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能

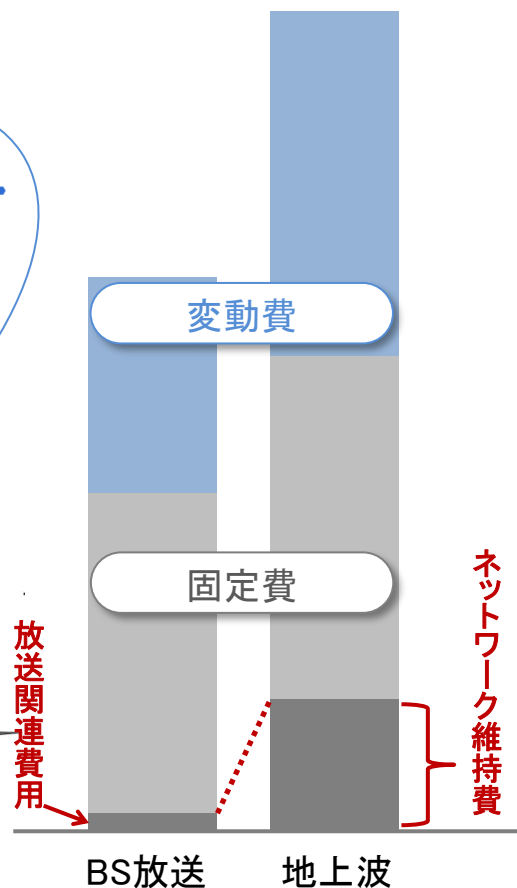
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

